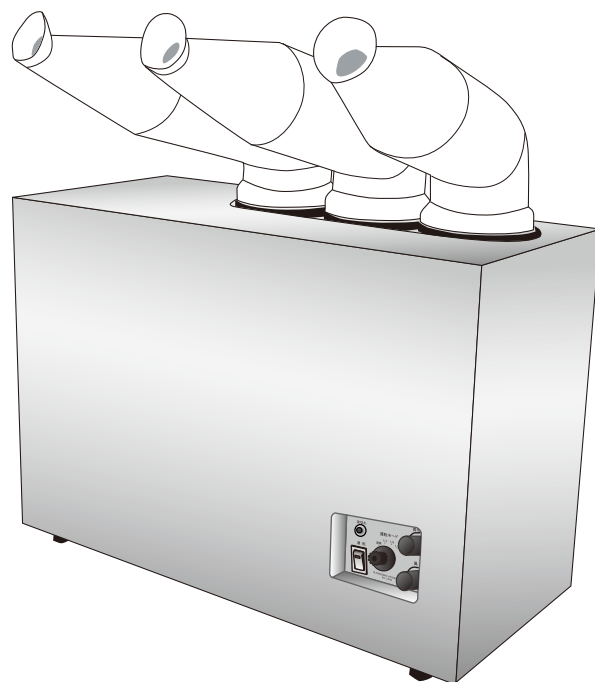


【業務用】超音波式

次亜塩素酸水対応

空間除菌消臭システム

MODEL:KS-2550



お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐ為の重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に製品をお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店または当社サービス窓口
に修理をご依頼ください。

定期的に点検する



安全及び性能維持の為にも、お買い上げ時とその後1年に一度は安全点検を行ってください。

万一、異常がおきたら

- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店または当社サービス窓口
に修理を依頼してください

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大ケガなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり周辺の家財に損害を与える事があります。

●注意を促す記号



火 災



感 電

●行為を指示する記号



●行為を禁止する記号



禁 止



分解禁止



接触禁止



下記の注意を守らないと

火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

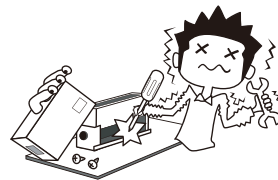
内部には電圧の高い部分があり、不用意にフタを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検や消耗品の交換、修理はお買い上げ店または当社サービス窓口までご依頼ください。

※当社の許可なく開封または改造、規格変更をして使用した場合、保証対象外となり有償修理になる場合がありますので、予めご了承ください。



分解禁止



内部に水や異物を入れない

内部水槽以外に液体が入ったり、本体内に異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合はすぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げ店または当社サービス窓口までご依頼ください。



禁止



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店または当社サービス窓口までご依頼ください。



禁止

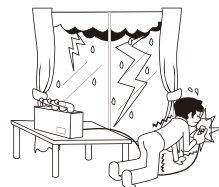


雷がなりだしたら電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

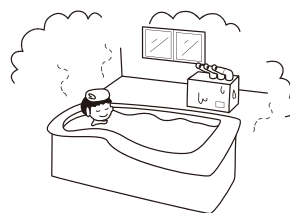


水のある場所に置かない

内部水槽以外に水が入ったり、ぬれたり、風呂場、屋外などで使うと火災や感電の原因となります。また、雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。



禁止

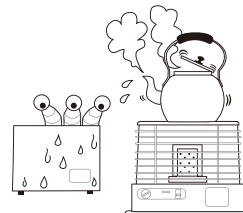


火中に投げたり、温湿度の高い場所で使わない

指定の使用温度範囲温湿度以外で使用すると、内部回路の漏電・発熱などで故障や発火の恐れがあります。



禁止



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



接触禁止

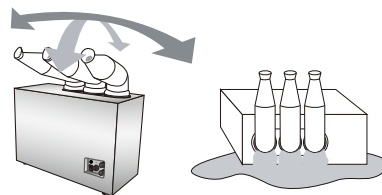




下記の注意を守らないと
**火災・感電により死亡や
大けが**の原因となります。

傾斜・転倒させないように取扱う

液体が入った状態で本体を全方向45度以上に傾けると、内部水槽の液体がこぼれる恐れがあり、感電や故障の原因となります。



本体から水が漏れていたらずぐ電源プラグを抜き、修理を依頼する

本体が故障した時や揺らしたり倒したりした場合、液体が漏れることがあります。感電する恐れがありますので、必ずすぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、内部の液体を抜き取ってから修理依頼をしてください。



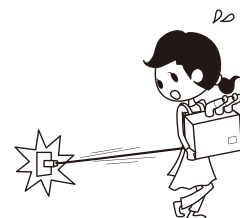
プラグをコンセントから抜く

移動させるときは電源プラグと液体を抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。運ぶときは衝撃を与えないようにしてください。また液体を入れたまま移動すると、液体がこぼれたり場合によっては内部回路に液体が入り込み、故障や感電の恐れがあります。

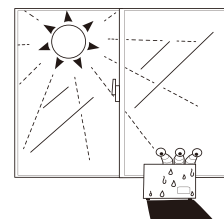


プラグをコンセントから抜く



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所 熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。



人が通行するような場所に置かない コード類は正しく配置する

電源コードは足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っ掛けたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置をしてください。



指定の液体以外は使用しない

当社指定の液体以外を使用しないでください。指定外の液体（水道水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・化学薬品・芳香剤等）を使用した場合、故障の原因となります。また、指定外の液体を使用した場合、レジオネラ菌等、雑菌やカビが繁殖する可能性があり、これらが空中噴霧されると健康を害する恐れがあります。最悪の場合、死亡・重篤になる可能性がありますので絶対におやめください。アルコールや石油などの引火性溶剤は引火や爆発の恐れがありますので絶対におやめください。



古くなった液体は使用しない

古くなった液体は脱臭・除菌効果が減少しますので使用しないでください。

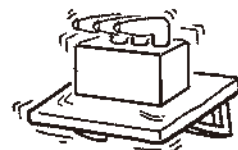




下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**のを与えたりする事があります。

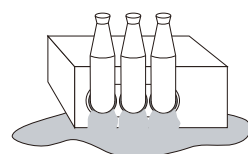
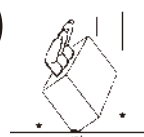
必ず安定した場所に設置をする

ぐらついた台の上や傾いたところになどに置いたり、落下・転倒防止対策を行わない場合は、製品が落ちたり転倒したりして、けがや家財及び本機の破損の原因になります。



傾斜・転倒・落下させないように、ていねいに取扱う

本機は精密な部品で構成されていますので、落下や転倒させると内部の機器（ファン・発生管等）の破損の原因になります。また、液体が入った状態で本体を全方向45度以上に傾けたり倒したりすると、内部水槽の液体がこぼれる恐れがあり感電や故障の原因となります。



吹き出し口や吸気口をふさがない

ふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本来の性能を発揮できなくなります。製品の周りには物を置かないでください。



- 布や布団の上に置いたり、かぶせたりしない
- 正しく設置する（倒したりしない）

長期間ご使用にならない時は、電源プラグと液体を抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、内部の液体を抜き取ってください。



プラグをコンセントから抜く

吐出管を装着しないで運転しない

吐出管を取り付けない状態で運転すると液体が飛び散り周囲を濡らすばかりか、本体内部に液体が侵入してしまいます。内部に液体が入ると故障や感電の恐れがあります。



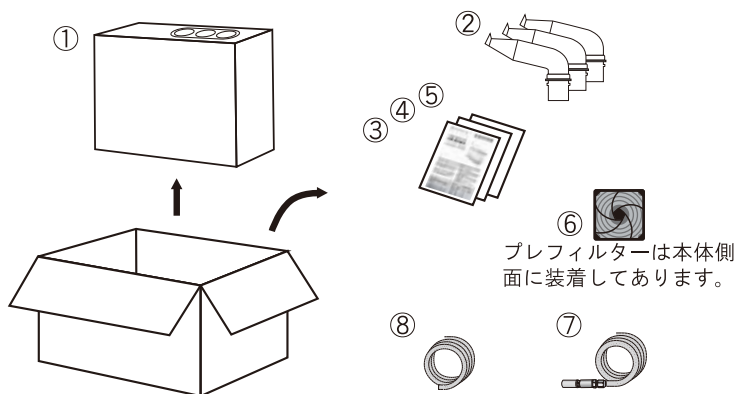
本機の特徴

本機は超音波を利用し、次亜塩素酸水を効率良く噴霧することができます。噴出す霧は熱くなく、やけどの心配がないため、どなたにも安心してご使用いただけます。

インターバル機能(間欠運転)を使用することで液体の使用量を大幅に削減できます。

開梱と梱包内容確認

箱から付属品と取扱説明書、本体を取り出します。



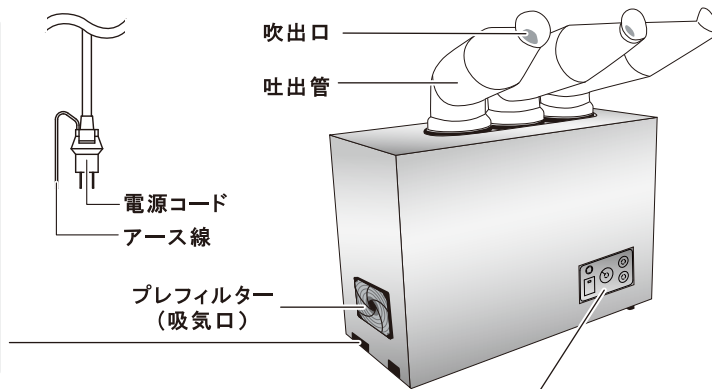
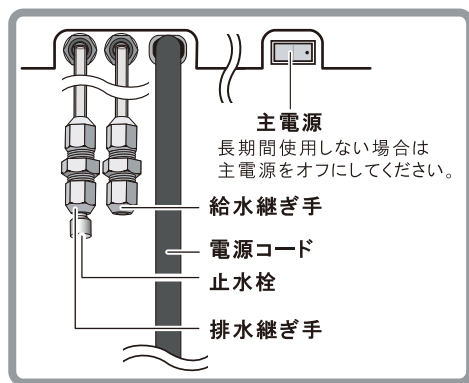
梱包内容

- ① 本体…1
- ② 吐出管(吹出口)…3
- ③ 取扱説明書(本書)…1
- ④ 保証書…1
- ⑤ リペアリクエスト…1
- ⑥ プレフィルター
(本体に装着済)…1
- ⑦ 給水ホース《柔軟 1.5m※》
(ストレーナ付)…1
- ⑧ 排水ホース《硬め 1m》…1

※1.5m以上のホースは別売です。販売店にご相談ください。

品物に不足がないか、また機器に破損等ないかをお調べください。
(万一不具合がありましたら販売店にご連絡ください)
箱は修理や点検の際、再度使用しますので大切に保管してください。

各部のなまえとはたらき



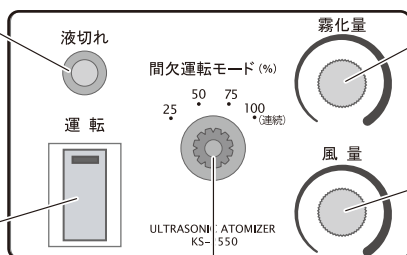
コントロールパネル

液切れ表示

本体に液体がなくなると赤色ランプが点滅しブザーが鳴ります。配管・ホース等給水部を確認してください。
(詳しくは8ページ)

運転スイッチ

運転スイッチを「入」にすると内蔵ランプが点灯します。



運転モード切替スイッチ

「25%」「50%」「75%」「100%(連続)」の4つの運転モードが選択できます。動作内容は8ページをご覧ください。

霧化量調節

無段階に霧化量調節が可能です。右に回すに従い霧化量が増します。

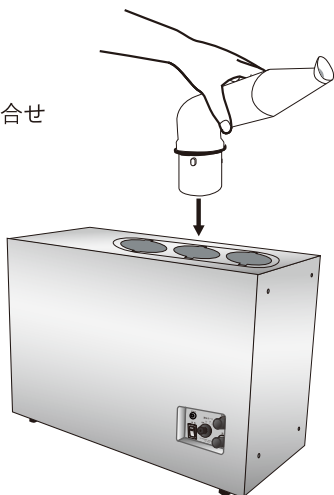
風量調節

無段階に風量調節が可能です。右に回すに従い風量が増します。

くみたて

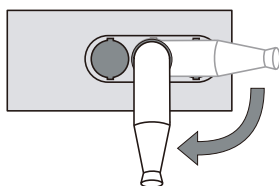
1 本体に吐出管(3本)を取り付けます。

- 吐出管の凸と本体の凹を合せて差し込みます。

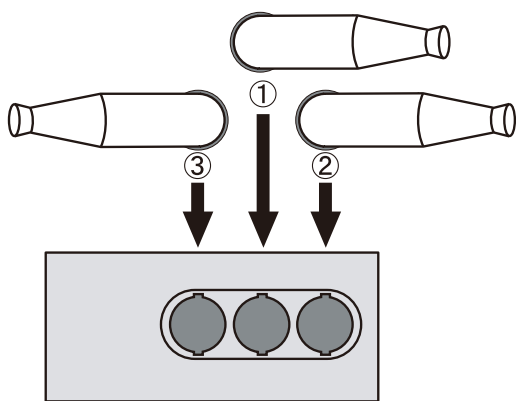


- ★パッキンを水で濡らしておくと装着しやすくなります。

- 吐出管を押し付けながら回転させてください。



- 吐出管の挿入順番は下記の通りに行ってください。



警告

吐出管をはずしたまま使用しない



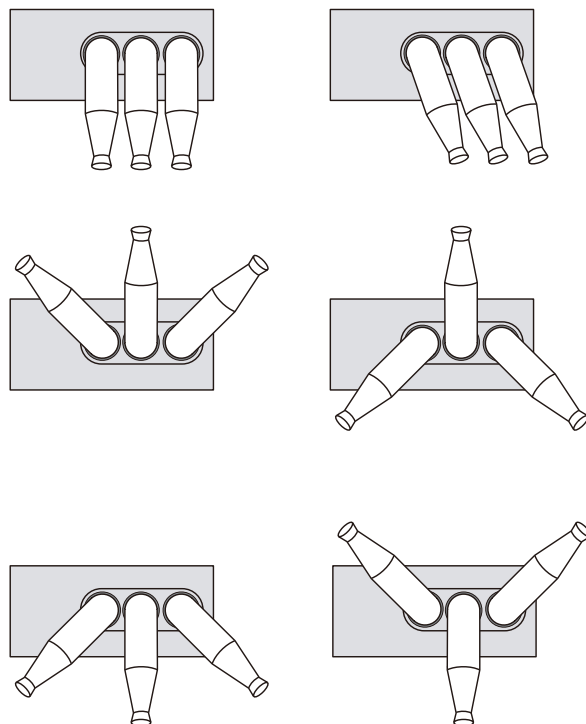
禁止

吐出管を取り付けない状態で運転すると、液体が飛び散り周囲を濡らすばかりか、本体内部に液体が侵入してしまいます。内部に液体が入ると故障や感電の恐れがあります。

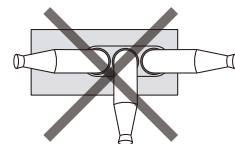
2

吐出管は様々な方向へ向けることができます。用途に応じて最適な方向にセットしてください。

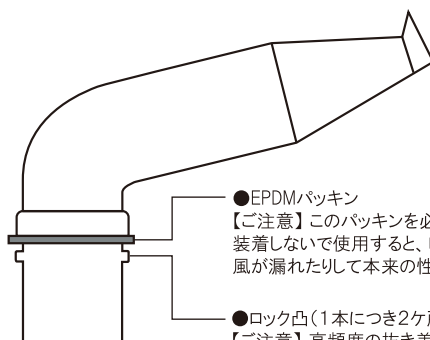
《吐出管方向セット例》



【ご注意】吐出管90度方向は着脱用ですので真横には向けられません。若干角度をつけてセットしてください。(10度程度)



●吐出管について



●EPDMパッキン

【ご注意】このパッキンを必ず装着してください。装着しないで使用すると、吐出管がぐらついたり風が漏れたりして本来の性能を発揮できません。

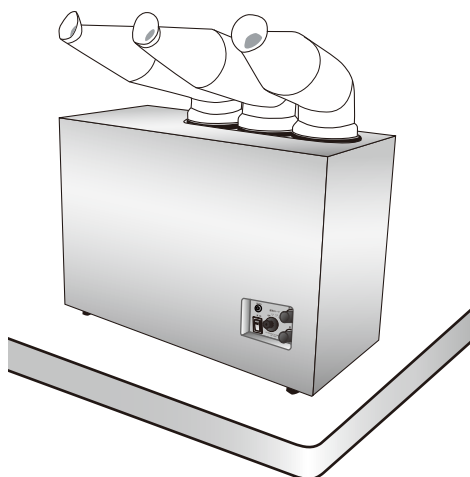
●ロック凸(1本につき2ヶ所)

【ご注意】高頻度の抜き差しに対応するようには設計されていません。頻繁に抜き差しを繰り返すとこの部分が破損する場合があります。この部分の破損は保証期間内であっても保障の対象外となりますので取扱にご注意願います。

※万一破損の場合は別途お買い求めできますので、「別売部品(P10)」をご覧ください。

設置方法

1 本体を安定した丈夫で平らな場所に設置してください。



【ご注意】 本製品は据置き専用です。

注意



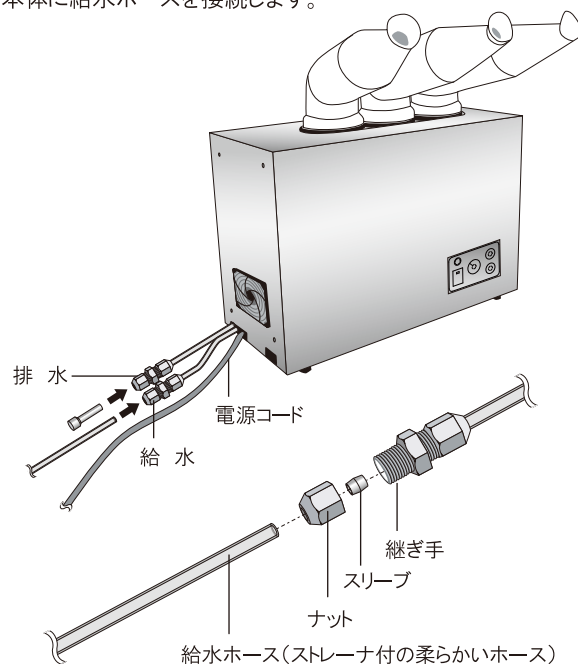
禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いた場所に設置すると、製品が落下してけが・故障の原因となります。必ず安定した平らな場所に設置してください。

2

本体に給水ホースを接続します。

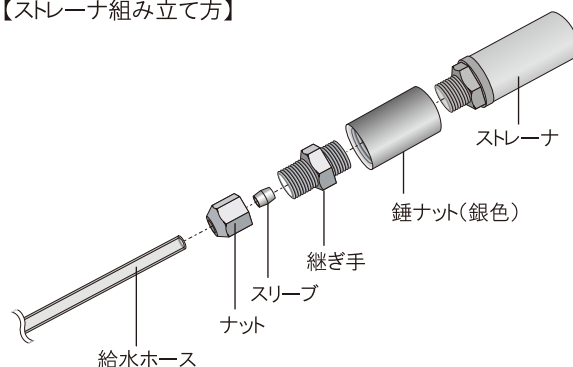


●給水継ぎ手のナットを反時計方向へ回してナットを取り外してください。給水ホースを図のように継ぎ手にまっすぐ差し込みます。奥までしっかりと差し込んでナットをしっかり締めてください。

※スリーブを入れ忘れたり、ホースを奥まで差し込まなかったりした場合は空気を吸い込んでしまい、液体が吸い上がらない場合があります。確実に接続してください。

※ナットが外れない場合は工具等をお使いください。

【ストレーナ組み立て方】



●上図のように組み立ててください。工場出荷時は組み立ててあります。

重要

ストレーナ未装着で運転しないこと

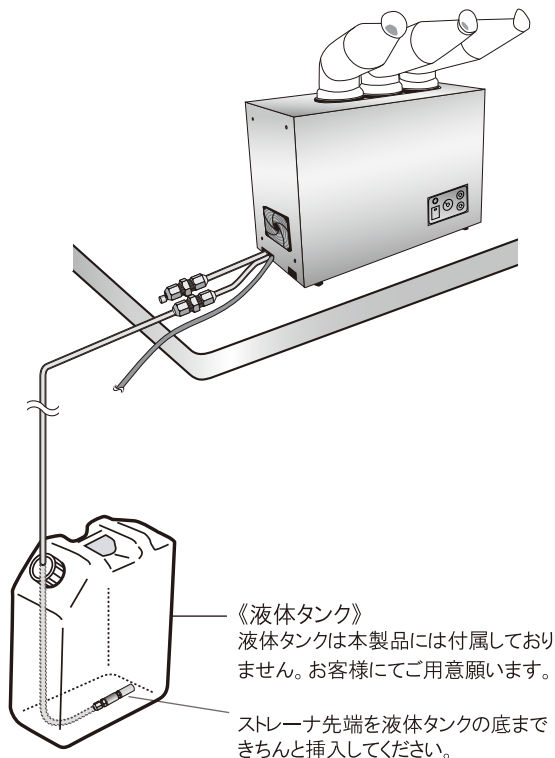


禁止

ストレーナを装着しないとゴミなどの異物がホースや給水ポンプに詰まり、故障の原因となります。ゴミなどの異物が詰まった場合、保証期間内でも有償修理となりますので必ず装着してください。

設置方法

3 給水ホースをタンクにセットします。



- 本体とタンクの高低差は最高2.5m程度までにしてください。
(推奨: 約1m)

これ以上になるとポンプに負荷がかかり吸い上げなかったり給水に時間がかかったりしますのでポンプの寿命が短くなる恐れがあります。

※付属の給水ホースは1.5mです。これ以上の長さが必要な時は販売店にご相談ください。

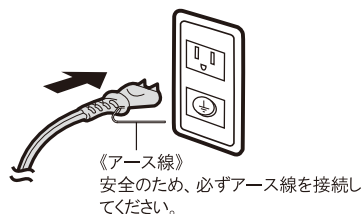
【ご注意】 給水ホースを折り曲げたり物等で踏み潰さないでください。給水不良の原因となります。

⚠ 重要

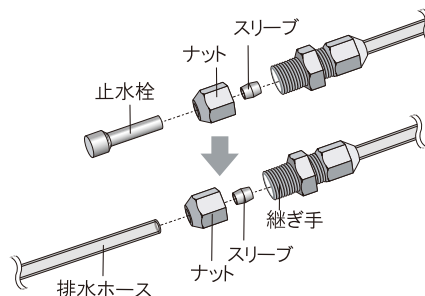
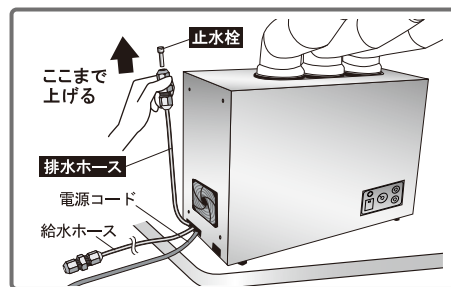
液体の濃度・pHをご確認ください

【濃度】80ppm以下 【pH】5.5～7.5

4 電源プラグをコンセントに差し込みます。



【液体の排出方法】



- 排水継ぎ手のナットを反時計方向に回し止水栓を抜いてください。

本体より上に持ち上げてから止水栓を抜いてください。
本体より下で抜くと、抜いた直後に水が流れ出してしまいます。

- 付属の排水ホースを接続し液体を排水してください。

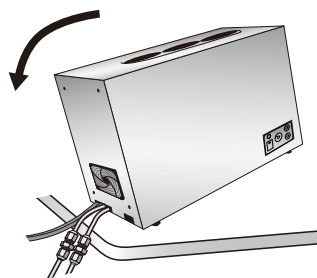
※排水ホースを接続しないと排水しにくい場合があります。
※本体内部の液体が若干残る場合があります。

- 排水完了しましたら、逆の手順で戻してください。

※スリーブを必ず使用し止水栓を奥まで挿入し、ナットはしっかりと締めてください。水漏れの原因となります。

本体を移動させる時は必ず本体内の液体を全て排出して下さい。

⚠ 注意 排水時は、【最後に】本体を傾けて本体内の液体を全て排出してください。

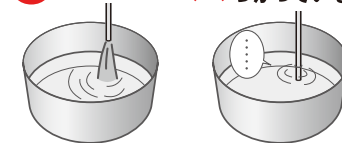


● 本体が平らな状態で排水すると、本体内に若干液体が残ります。排水ホースの方向に本体を傾けると本体内に残っている液体が流れ出ますので、**排水時の最後に傾けて全て排出してください。**

【ご注意】 水が沢山入った状態で傾けると、水槽から水があふれて内部部品をぬらし、故障の原因になります。

排水ホースの先端が

○ 水面より上 × 水につかっている



【ご注意】

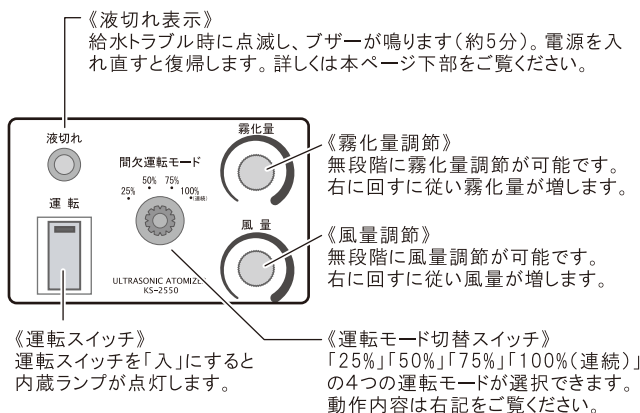
● 排水ホースの先端が水につかっていると、水圧により本体内の液体が排出されません。排水ホースの先端は必ず水面より上で排水してください。

⚠ 警告



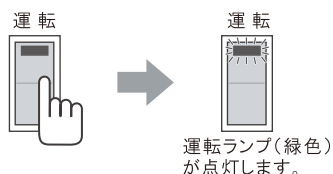
感電防止のため、排水作業は電源プラグを抜いてから行ってください。

操作方法



1 電源投入

- 本体の主電源スイッチをONにします。
- コントロールパネルの運転スイッチをONにします。



- 内蔵ポンプが動き出し、液体タンクから液体を給水開始します。
※まだ霧は発生しません。ただし、本体内に液体が充分ある場合は、電源ONですぐ霧が発生します。
- 液体が本体内の水槽に一定の水位まで給水されると、自動的に霧が出て運転を開始します。本体内にまったく液体が無い状態からの給水の場合、運転開始まで約3～6分程度かかります。なお、設置状況によってはもっと時間がかかる場合があります。(本体と液体タンクの高低差が大きい程時間がかかります)
- 自動的に運転を開始しても、まだ給水ポンプは止まりません。満タンになると自動的に給水を停止します。
- 本体内の液体が減少してくると自動的に給水を始めます。満タンになると給水を停止します。

「液切れ表示」について

- タンク内に液体が少ない(もしくはまったく無い)状態ですと、内蔵ポンプが液体を吸い込む事ができないので空運転状態になります。ポンプが約4～5分動作すると「液切れ」または「給水トラブル」判断し、「液切れ」ランプが点灯します。
タンクに液体が無い場合は液体を補充してください。タンクに液体がある場合、給水がうまくいっていない可能性があります。給水チューブの折れ曲がりや接続不良、またはチューブがきちんと挿入されていない可能性があります。P10・添付の「給水について」を参照して原因を取り除いてください。
- 本機搭載のポンプは空運転(水無運転)をしてもこわれませんが、給水ポンプは一定時間運転し続けると自動的に停止します。これはポンプの保護・液切れ検知・給水トラブル検知機能ですので故障ではありません。
- 一度「液切れ」ランプが点灯すると自動で復帰しません。電源をオフにし、再度オンにすると復帰します。

2 霧化量調節



- 霧化量を調節することができます。一番左に回すと「霧化量 小」一番右に回すと「霧化量 大」です。この間は無段階に調整可能です。用途に応じて霧化量を調節してください。



霧化量を最小にすると霧が出なかったり見えにくいことがあります。また、振動子の特性上、霧化量にばらつきが生じる場合がありますが、故障ではありません。

3 風量調節



- 送風ファンの風量を調節することができます。一番左に回すと「風量 小」一番右に回すと「風量 大」です。この間は無段階に調整可能です。用途に応じて風量を調節してください。



風量を最大にすると吹き出し口から液体の粒が飛び出しまわりを濡らす恐れがあります。床が濡れて滑りやすくなると危険です。物を濡らした場合、影響が出る恐れがあります。適切な風量に調節してご使用ください。

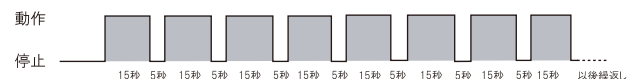
4 運転モード切替



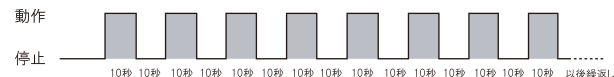
- 本機には液体の消費を抑えることができるインターバル運転機能が搭載されています。使用する室内の広さや用途に応じて各モードを選択してください。各モードの動作は下記を参照してください。

《100%》 常に連続して運転を行います。
液体消費量・・・約2000cc/h

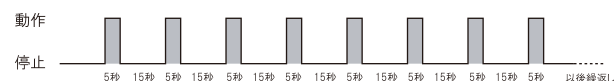
《75%》 約15秒間動作し、約5秒間停止します。この動作を以後繰り返します。液体消費量・・・約1,500cc/h



《50%》 約10秒間動作し、約10秒間停止します。この動作を以後繰り返します。液体消費量・・・約1,000cc/h



《25%》 約5秒間動作し、約15秒間停止します。この動作を以後繰り返します。液体消費量・・・約500cc/h

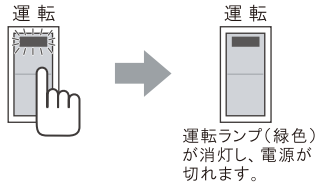


- 運転・停止時間はおよその時間です。表示秒数より前後する場合がありますが、仕様ですのでご了承願います。

※液体消費量は概ねの目安です。休止時間の誤差や、室温・湿度等の要因により大幅に消費量が変わる事がありますのでご了承ください。
※上記の液体消費量は風量「大」設定時の数値です。風量「小」の場合、消費量は減少します。

5 動作を止める

- コントロールパネルの運転スイッチをOFFにします。



- 長期間使用しないときは、本体内部の液体を排出し、主電源もオフにしてください。

⚠ 重要

必ず「お手入れ」を行ってから保管してください

本体内部に液体が残っていると液体が古くなり健康を害する恐れがあります。
また機器の劣化を防ぐためにも、保管や長期間使用しないときは、必ずお手入れを行ってから保管してください。

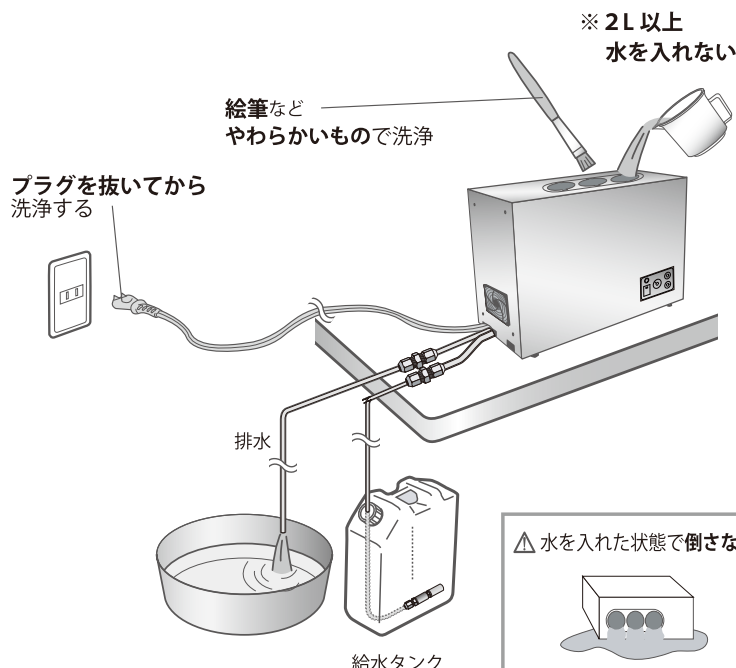
お手入れ

- 1 本体内部にたまっている液体を排出してください。※P7【液体の排出方法】参照

本体を移動させる時は必ず本体内の液体を全て排出して下さい。

- 2 排水ホースに止水栓を挿入します。
吐出管取付部より水を入れ、軸の長い絵筆などの柔らかいもので洗浄してください。
※振動子に付着物があっても動作に影響ありませんので、無理にけずり取らないでください。

- 3 止水栓を抜いて汚れた水を排出してください。
★排出される水がきれいになるまで、1、2の手順をくり返しおこなってください。



⚠ 注意

- 電源プラグを抜いてから洗浄してください。
感電の原因になります。

- 一度に2L以上の水を入れないでください。
水があふれたり、送風口などに水が入って、故障の原因になります。

- 絶対に振動子を傷つけないでください。
超音波振動により振動子に白い粉やかたい物質が付着してしまう場合がありますが、かたい棒やへら、金属ブラシ、研磨剤入りのタワシやミガキ粉などを使用しないでください。

※振動子を傷つけたことにより振動子が故障してしまった場合は、保証期間内であっても保証の対象外とさせていただきます。

故障？その前に…

動かない、動作がおかしいなど故障と思われる場合、修理依頼を出す前に本書をもう一度お読みください。

Q. 霧が出ない

- A. ①液体はありますか？→液体を補給してください。
 ②給水中ではありませんか？→しばらくお待ちください。
 ③ホースが折れ曲がっていたり、何かに踏まれていませんか？→原因を取り除いて下さい。
 ④インターバル運転の「停止」状態の時ではありませんか？→一定時間後、霧がでます。しばらくお待ちいただくか、運転モードを切り替えてください。

Q. 給水しない

- A. ①液体はありますか？→液体を補給してください。
 ②ホースが折れ曲がっていたり、何かに踏まれていませんか？→原因を取り除いて下さい。
 ③給水ホースがきちんと接続されていますか？→ホースを継手の奥までしっかりと挿入し、液体タンクの下部までホースを挿入してください。

Q. 霧が良く出ない

- A. ①指定の液体以外を使用していないですか？→当社認定の液体を正しく使用してください。
 ②水温・気温・湿度が低くありませんか？→これらが低いと霧が発生しにくい場合があります。湿度が低い場合は、霧が発生してもすぐ気化してしまい、霧が見えにくい場合があります。
 ③新品時、振動子が馴染むまでは霧が出にくい場合があります。しばらく運転して様子を見てください。

Q. 各吐出管ごと、霧の出る量が違う。または出ない管がある

- A. ①本体が傾いて設置されていませんか？→水平な位置に正しく設置してください。
 ②超音波発生ユニットの寿命ではありませんか？→超音波振動子の寿命は概ね5,000時間です。使用環境や個体差により大幅に異なる場合があります。超音波振動子は消耗品ですが、交換はお客様にて作業できませんので当社サービスセンターまでご連絡ください。（裏表紙をご覧ください）

主な仕様

機器名称	【業務用】超音波噴霧器
型 式	KS-2550
霧化ユニット数	3個
霧 化 量	約2.0L(水温・周囲温度27℃時)新品時
適用床面積	最大 約150畳(条件により増減する可能性があります)
設置方式	据置型
吐 出 管	ポリエチレン製成型パイプ(3本)
風 量	最大0.4m ³ /分(無段階調整)
給水方式	内蔵給水ポンプによる外部タンク式(自動水位調節)
使用液体	次亜塩素酸水(HOCl:80ppm以下/pH:5.5~7.5)対応*当社認定品のみ使用可能
吸込揚程	推奨揚程 約1m / 最大2.5m(給水時間が長くなります)
給水水温	5 ~ 30℃
許容周囲温度	5 ~ 37℃(ただし凍結・結露なきこと)
許容周囲湿度	80%RH以下(ただし結露なきこと)
定格電圧	AC100V (50/60Hz)
許容電圧範囲	定格の90~110%
消費電力	約250W
重 量	約9kg(給水時 約10kg)
外形寸法	下記参照
電源コード	2.5m
操作パネル仕様	液切表示・電源ON/OFF・霧化量調節・風量調節・運転モード切替
運転モード	100%(連続)・75%・50%・25%
(インターバル機能)	インターバルの各動作時間は目安であり前後する場合があります
付 属 品	ストレーナ・給水ホース1.5m(注1)・排水ホース1m
	吐出管3本・プレフィルター(本体装着済)
備 考	注1:最大吸込揚程は2.5mですが付属の給水ホースは1.5mです。これ以上の長さが必要な場合は別売のロングホースをご購入ください。
加湿能力	木造和室 約34畳(56m ²) / プレハブ洋室 約56畳(92m ²) (日本電機工業会規格JEM1426に基づき、20℃30%時の能力を表示)

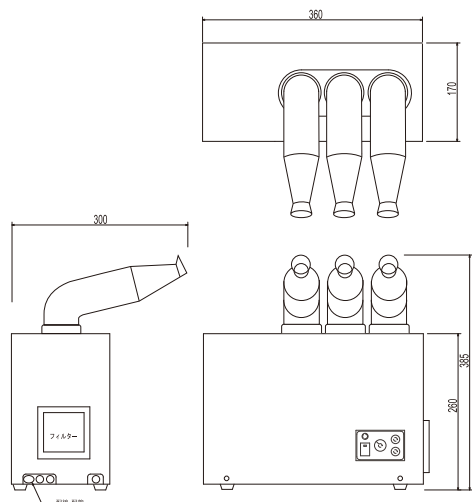
※仕様は製品改良のため、予告無く変更になる場合があります。
 ※適用床面積は除菌消臭成分の行き渡る面積です。

【各設定の1時間あたりの液体消費量】

霧 化 量	100% (連続)	75%	50%	25%
液体消費量	2,000ml	1,500ml	1,000ml	500ml

※上記の液体消費量は概ねの目安です。使用環境(室温・湿度・水温・水質・室内環境・電源電圧・製品個体差等の複合要素)によっては数値が大幅に変わる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【外形寸法】



【高周波利用設備 申請について】

本製品をご使用の際は、**総務省指定「高周波利用設備許可申請書」の届出が必要です。**

製品のご購入時、高周波利用設備の許可申請が必要な以下の必要書類が添付されております。

1. 高周波利用設備の申請手続きについて 1部
2. 高周波利用設備許可申請書 1部
3. 高周波利用設備許可申請書の添付書類 2部
4. 外観写真 2部

※申請の際、上記に加え

「設置場所付近の図面(2部)」が必要です。

申請用紙に所定の事項を記入し、お客様にて管轄の総務省地方総合通信局に届出を行ってください。

別売部品・消耗部品のご案内

長くお使いいただきますと、消耗部品の交換が必要となります。
本機的能力を最高に保つためにも、以下の消耗部品の定期的な交換をおすすめします。

- 本体内部の部品の取替えは専門的な知識が必要ですので、お客様にてお取替えはできません。当社サービスセンターまでご連絡のうえお送りください。
- 本体をサービスセンターにお送りいただく際の送料は、お客様にてご負担いただきますようお願いいたします。
- 部品価格は販売店または当社サービスセンターまでお問い合わせください。



■超音波ユニット

※本機には3個搭載されています



■超音波振動子



■ポンプ



■フロート



■ストレーナー



■中継 継手



■スリーブ



■止水栓



■吐出管(1本)

※本機には3本使用されています



■吐出管パッキン



■給水ホース
1.5m/2m/2.5m



■排水ホース
1.5m/2m/2.5m



■フィルター

⚠ 重要

超音波ユニットは消耗品です 【交換目安: 約5,000時間】

霧を発生させる超音波ユニットは消耗品です。約5,000時間の使用で寿命を迎え、徐々に霧が出なくなります。振動子のみの交換も可能ですが、本機的能力を最高に保つためには、超音波加湿ユニット(駆動基板+振動子)の定期的な交換をおすすめします。(※本機には超音波ユニットが3個搭載されています)

ご用命は販売店または星光技研サービスセンターへ



株式会社 星光技研 〒381-0012 長野県長野市柳原1573

お問合せはこちらまで

TEL 026-243-4055 (サービスセンター)

FAX 026-244-3455

E-Mail: info@seiko-giken.jp

https://www.seiko-giken.jp

月～金(土日祝を除く)

9:00～17:00

FAX・E-Mailは24時間受付